

雪国新潟の味覚が人気

12月24日、杉並区役所玄関前では、交流自治体の新潟県小千谷市の特産品を販売する「小千谷ふるさと市場」が開催されました。こうした交流自治体の物産展は、年間に25回ほど開催していますが、今回が今年最後となり、雪国新潟の特産品である餅や日本酒などを正月用に買い求める人々で、たいへんな賑わいを見せていました。

杉並区と新潟県小千谷市は、平成16年5月12日に、「災害時相互援助協定」を締結しました。その締結から半年も経たずして、中越地震が発生し小千谷市は大きな被害を受け、杉並区から物的・人的支援を行いました。その後、東日本大震災では杉並区の交流自治体の一つである福島県南相馬市が大きな被害を受けると、小千谷市も杉並区や他の交流自治体とともに支援を行いました。こうした災害時の関係が、平常時の深いつながりとなり、少子高齢化の中で打ち出された地方創生の考えの中では、共存共栄を目指す関係となっています。

今回開催された「小千谷ふるさと市場」は、今年も残すところ1週間となり、多くの買い物客が正月用の餅や銘酒を目当てに開店前から、列ができるほどの盛況でした。もちろん、雪国新潟は、コシヒカ리의名産地として有名で、米どころ新潟にふさわしい美



味しい米や、米を原料とした餅、酒、笹団子、米菓などが人気です。また、お正月の食卓に出される昆布巻きや棒だら、さらに新鮮野菜も店頭に並びました。

開店前から並んでいた70代男性は、「正月には、子どもや孫も集まるので、新潟の美味しいお酒をみんなで楽しみたいです。」と笑顔で話していました。

【問い合わせ先】

区民生活部文化・交流課 電話 03-3312-2111 内線 3785